

はじまる。看護の夢、わたしの未来。

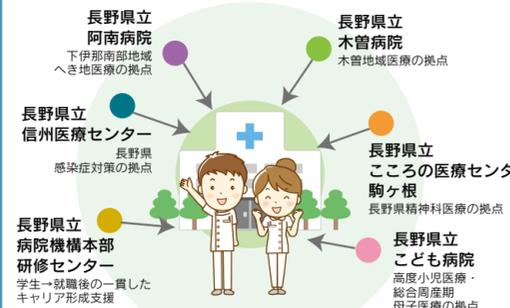
## 信州木曾看護専門学校

- 開校 平成 26 年 4 月
- 課程 医療専門課程 看護学科 3 年課程
- 修業年限 3 年
- 入学定員 30 人 (総定員 90 人)

長野県立病院機構では特色ある 5 つの県立病院と研修センター機能を活かし、地域とともに看護への夢を支援します。

### 学校の特徴

平成 26 年に開校以来、高い国家試験合格者を誇り、卒業生は、主に県内の病院等で活躍中。また、進学をして保健師、助産師の資格を取得した卒業生もいます。少人数制で丁寧な講義を心がけ、在校生は和気あいあいと学んでいます。



## Nagano Prefectural Hospital Organization

地域の明日を医療で支える  
地方独立行政法人 長野県立病院機構

本部事務局  
〒380-8570 (住所記載不要)  
長野県長野市大字南長野字幅下 692-2 長野県庁 4 階  
TEL026-235-7160 (直通) FAX026-235-7161  
E-mail honbu@pref-nagano-hosp.jp

●本部研修センター  
〒382-8577 (住所記載不要)  
長野県須坂市大字須坂 1332 長野県立信州医療センター内  
TEL026-246-5540 FAX026-246-5559

●信州木曾看護専門学校  
〒397-8567 長野県木曾郡木曾町新開 4236  
TEL0264-24-0020 FAX0264-22-4070

●長野県立信州医療センター  
〒382-8577 (住所記載不要)  
長野県須坂市大字須坂 1332  
TEL026-245-1650 (代表) FAX026-248-3240

●長野県立こころの医療センター駒ヶ根  
〒399-4101 長野県駒ヶ根市下平 2901  
TEL0265-83-3181 (代表) FAX0265-83-4158

●長野県立阿南病院  
〒399-1501 長野県下伊那郡阿南町北條 2009-1  
TEL0260-22-2121 (代表) FAX0260-31-1014

長野県阿南介護老人保健施設  
〒399-1501 長野県下伊那郡阿南町北條 2009-1  
TEL0260-22-3800 FAX0260-31-1085

長野県立阿南病院訪問看護ステーションさくら  
〒399-1501 長野県下伊那郡阿南町北條 2009-1  
TEL0260-31-0102 FAX0260-31-0030

●長野県立木曾病院  
〒397-8555 長野県木曾郡木曾町福島 6613-4  
TEL0264-22-2703 (代表) FAX0264-22-2538

長野県木曾介護老人保健施設  
〒397-8555 長野県木曾郡木曾町福島 6613-4  
TEL0264-22-2677 FAX0264-22-2781

長野県立木曾病院介護医療院  
〒397-8555 長野県木曾郡木曾町福島 6613-4  
TEL0264-22-2703 (代表) FAX0264-22-2538

●長野県立こども病院  
〒399-8288 長野県安曇野市豊科 3100  
TEL0263-73-6700 (代表) FAX0263-73-5432

## ●長野県立病院機構本部研修センター

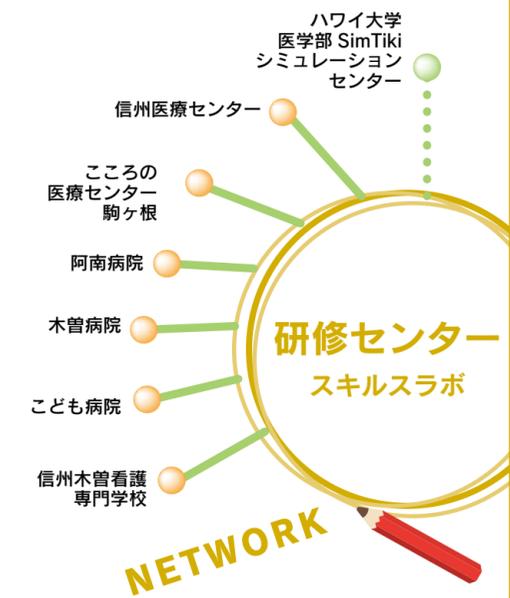
県立病院の診療機能の維持・発展のために、機構全職員の知識、技術、資質の向上を図るとともに、優れた指導者の育成を目指します。また、長野県全体の医療水準の向上に寄与するため、開かれた研修施設となります。  
その目標実現のために以下のように取り組んでいます。

- ①機構のみならず、県内の医療水準向上のため、シミュレーション教育のレベルアップを外部指導者とも協力し推進します。
- ②地域医療ならびに専門医療を提供できる医療人の育成を支援します。
- ③多職種連携に関する教育の推進と研修を実践します。
- ④県内中核病院との連携強化による人材育成ネットワークを構築します。
- ⑤各種の職員研修を通じてキャリア形成支援をします。
- ⑥職種別専門研修の開催・支援をします。

また、当センターは県の信州医師確保総合支援センター・県立病院機構分室として位置づけられており、人材の確保と育成にも力を入れています。



### 研修センターのネットワーク



## Nagano Prefectural Hospital Organization



地域の明日を医療で支える



## MESSAGE

### コロナ禍で第3期中期計画を開始

皆様には日頃から長野県立病院機構（本機構）の運営にご理解、ご支援をいただき感謝申し上げます。

県立5病院（信州医療センター、こころの医療センター駒ヶ根、阿南病院、木曾病院及びこども病院）、信州木曾看護専門学校、本部研修センター・本部事務局は、令和2年4月から第3期中期計画を開始し、県民の皆様へ安全・安心で良質な医療を提供するため新規事業を計画しました。

主なものは、信州医療センターでは診療レベルの充実・強化と総合医の養成、こころの医療センター駒ヶ根では児童・思春期、青年期（20歳まで）の精神科医療（特に、発達障害、ゲーム・ネット依存など）の展開、阿南病院では地域の診療所等との連携、木曾病院では木曾地域唯一の総合病院として機能の維持・充実及び地域の診療所等との連携、こども病院では甲信越北陸地方唯一の小児・周産期専門病院としての診療機能の充実、信州木曾看護専門学校は認知度の向上及び教員の確保・養成、本部研修センターは従来の研修・教育機能の更なる向上、機構本部は各病院等を十分支援できる体制の強化であります。

しかしながら、令和2年2月から新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の蔓延に伴い、県立5病院はCOVID-19患者の受け入れやその準備に追われることになりました。その結果、各病院の経常収支は令和2年4月から6月の3か月間は受診控えや風評被害などにより、大幅に患者数が減少となり、収益も大きく落ち込みましたが、10月からようやく機構全体で黒字に転じてきたところです。

また、信州木曾看護専門学校は令和2年4月16日の全都道府県を対象とした緊急事態宣言の発出に伴い、一時休校しましたが、オンライン授業を行うことで何とか講義を続け、病院実習でも木曾病院などの協力を得て所定単位の実習を終えることができました。

COVID-19の終息には有効なワクチンや特效薬の開発が必要です。現在、欧米でワクチンが臨床応用されており、わが国でも接種が開始される予定です。このワクチンは発症や重症化の予防効果がありそうですが、集団免疫を獲得するには人口の60%への接種が必要とされていることから、わが国でのCOVID-19の終息には最低半年、普通に考えれば1年は要すると思われる。

従って、各病院では引き続きコロナ患者の受け入れや準備と並行して、一般診療を行うという、今までに経験したことのない、難しく・厳しい診療を強いられます。

長野県内でも多くの病院で院内感染が報告されています。幸い、県立5病院で職員の感染や院内感染の発生はありませんが、今後も職員の感染防止は勿論、院内感染対策をしっかりと行っていきます。

コロナ禍であっても、第3期中期計画の達成に向け、新規事業を積極的に行っていきたいと存じます。

県民の皆様や関係各位におかれましては、引き続き、本機構に対しましてご理解・ご支援をよろしくお願い申し上げます。

（2021年2月記）

# 5つの県立病院

安心で質の高い  
医療サービスを提供する

地方独立行政法人長野県立病院機構は、県民の皆様から求められている「地域住民の健康を守るかけがえない病院」、「地域の医療を支える基幹的な病院」、「他の医療機関では対応が困難な高度・専門医療を提供する病院」としての役割を果たすために、地域の医療ニーズを的確に把握し、診療体制を充実させながら県民の視点に立った安全で安心な医療を提供します。

また、5つの県立病院と本部研修センター、信州木曾看護専門学校の人的・物的・知的資産を有機的に連携させて有効に活用しながら、地域の医療・保健・福祉機関や大学附属病院等、県内外の医療機関との連携を図り、地域全体の医療機能の向上に貢献していきます。

そのために、優れた人材の組織的な育成・確保、医療に関する調査・研究に取り組んでおります。

## SHINSHU 長野県立信州医療センター

- 許可病床数 320床
- 診療科目 内科・呼吸器内科・感染症内科・消化器内科・循環器内科・血液内科・脳神経内科・小児科・外科・整形外科・形成外科・脳神経外科・呼吸器外科・血管外科・皮膚科・泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・放射線科・麻酔科・精神科・病理診断科・リハビリテーション科・救急科

信州医療センターは、患者中心のチーム医療を理念に掲げ、須高地域の中核病院としての役割及び県内唯一の第一種感染症指定医療機関、結核指定医療機関、エイズ治療中核拠点病院としての責務を担っています。

日々の診療では、救急患者への24時間体制での対応など、地域の保健・医療・福祉機関との連携のもと、多面的な診療機能を発揮しています。また、平成29年度に稼働を開始した東棟を中心に、がん早期発見機能の向上、健康増進・予防医療の充実、在宅復帰支援機能の強化を図るとともに、産科医療体制の維持・充実に努め、地域の医療水準の向上に寄与しています。

さらに、新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、感染症指定医療機関として適切に患者を受け入れるとともに、感染症センターの機能を生かし、行政や他の医療機関と連携して早期終息に向けた取組みを行っています。

その他に、本部研修センターと連携し、初期研修医をはじめとする医療スタッフの育成及びレベルアップのために、シミュレーション教育を積極的に取り入れるなど、地域医療の現場で活躍する医師の育成に力を入れています。



## KOMAGANE 長野県立こころの医療センター駒ヶ根

- 許可病床数 129床
- 診療科目 精神科

こころの医療センター駒ヶ根は、県内の精神科医療を支え、その向上に寄与すべく「精神科医療の公的中核病院」として、先進的専門医療と地域医療を提供しています。

精神科救急医療の常時対応型病院として24時間365日対応し、m-ECT（修正型電気けいれん療法）やクロザピン治療といった先進的な専門医療を提供することで患者さんの早期退院を目指しています。また、退院後も地域で安定した生活ができるようデイケアや訪問看護、医療福祉相談にも力を入れています。

子どものこころ診療センターでは、児童精神科の多職種初診等による医療の充実を図るとともに、精神科研修・研究センターと協働して専門人材の育成を進めています。

依存症治療では、長野県よりアルコール依存症、薬物依存症及びギャンブル等依存症に係る専門医療機関、治療拠点機関の指定を受け、専門医療機能の強化や医療従事者等への研修を行っています。

また、認知症疾患医療センターを開設し、地元市町村・関係機関と連携して、増加する認知症疾患への対応も強化しています。



## ANAN 長野県立阿南病院（地域医療総合支援センター）

- 許可病床数 85床
- 診療科目 内科・精神科・小児科・外科・整形外科・（皮膚科）・泌尿器科・婦人科・眼科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科（ ）内は休診中
- 併設施設 介護老人保健施設「アイライフあなん」（入所定員50人、通所10人）  
長野県立阿南病院訪問看護ステーションさくら  
救急告示病院、へき地医療拠点病院
- 各種指定

阿南病院は、下伊那南部地域唯一の中核病院として、地域の医療・保健・福祉機関との連携のもと、地域住民の暮らしと絆を支え続け、地域に寄り添う医療を提供し、患者様中心の優しさと思いやりのある医療の提供を目指しています。

当地域は、全国的に見ても高齢化（率44.6%）が進み、さらに少子化により人口が減少しており高齢者世帯が多い地域となっております。そのような状況下で、無医地区への巡回診療や、訪問診療・リハビリ・服薬指導等の在宅医療を推進するとともに、介護老人保健施設、訪問看護ステーションも併設して運営しており、さらに「地域医療総合支援センター」を設置し、住民の健康管理の検診活動、認知症相談など対応、また、へき地医療に携わる医療技術者の育成にも力を注いでおります。

また、本館棟は免震構造の上、ヘリポートが付設されているため、災害時においても医療を継続できる機能を有しており、地域で安心して暮らせるための医療体制を備えています。さらに後方支援病院として、令和2年度より関係市町村、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等の協力により訪問看護ステーション運営を開始しました。今後も、地域の保健、医療、福祉サービス等の連携を保ち、一層の在宅医療及び地域包括ケアシステムの推進に努めます。



## KISO 長野県立木曾病院

- 許可病床数 199床
- 診療科目 内科・精神科・神経内科・消化器内科・循環器内科・小児科・外科・整形外科・形成外科・脳神経外科・皮膚科・泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科・歯科口腔外科
- 併設施設 介護老人保健施設「アイライフきそ」（入所定員50人・通所10人）  
長野県立木曾病院介護医療院「ユーライフきそ」（20床）

木曾病院は、木曾二次医療圏唯一の病院として、24時間365日体制で救急に対応するとともに、地域がん診療病院の指定を受け、がん診療の充実を図りながら急性期医療から里帰り分娩、更に在宅医療まで、都市部の病院と比較しても標準以上の医療の質とサービスを提供することを旨とし、職員一同、診療にあたっています。

また、急性期病棟・地域包括ケア病棟・療養病棟を有し、併設している介護老人保健施設、介護医療院とも連携しながら、医療と介護の切れ目ないサービスを提供しています。

さらに、県立病院では唯一、DMAT（災害派遣医療チーム）を組織しているほか、赤沢自然休養林での森林セラピードックや無医地区への巡回診療などの独自の取り組みも展開しています。



## KODOMO 長野県立こども病院（総合周産期母子医療センター）

- 許可病床数 200床
- 診療科目 小児科（総合小児科、感染症科、血液腫瘍科、新生児科、小児集中治療科、遺伝科、臨床検査科、訪問ケア科）、神経小児科、循環器小児科、小児外科、心臓血管外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、放射線科、麻酔科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、リハビリテーション科、産科、こころの診療科、泌尿器科、アレルギー科

こども病院は、一般の医療機関では対応が困難な、特殊又は高度な治療を必要とする小児の疾患を主たる対象として、診断・治療・相談及び指導を行う小児医療施設です。

また、周産期医療の中核病院、県の総合周産期母子医療センターとしての機能を担い、出生前後の母体・胎児から新生児に至る一貫した高度専門医療を提供しています。24時間体制での救急・ドクターカーで地域の医療施設に重症患者さんを出迎える体制の整備、重症な患者さんを診療する小児集中治療室（PICU）など十分な受入れ態勢も整備しています。さらに、生命科学研究所センターをはじめとしてエコーセンター、3Dモデル造形センター、予防接種センター、口唇口蓋裂センター、ニューロケア（神経治療）センターなどの専門センターを設置し、小児周産期医療における先進的分野への役割も担っています。こども病院は小児医療の研修にも力を入れ、全国から病院の魅力を感じて集まった多くの医師の養成に貢献しています。



### 基本理念

県民の皆様により安全で質の高い医療サービスを安定的に提供していきます。

### 目標

- 1 基幹病院として地域の医療を支えるとともに、人口減少や少子・高齢化を見据えた医療を提供します。
- 2 医療・保健・福祉との連携を深め、地域全体の医療機能を向上します。
- 3 医療従事者の確保・育成機能の充実と看護人材の安定的かつ継続的な育成を図ります。
- 4 安全・安心な医療を提供し、患者サービスを一層向上します。
- 5 地方独立行政法人の強みを活かした確実な病院経営を継続します。

### シンボルマークについて

- 5枚のハートは5つの県立病院を表し、5つの県立病院が一体となって、地域の医療を支えていくことを表しています。
- マークのグリーンの色は、生まれ変わった県立病院の清新なイメージと自然豊かな長野県の地域を表しています。



地方独立行政法人  
長野県立病院機構  
理事長 久保恵嗣